

標一本棚

私詩と芸吟能

私とフラダンス

秀子カビオレフアフラスタジオ  
大友 喜代子

私が初めてフラに興味を持ったのは、十年ほど前、地域の役員仲間一人が、健康のためにフラを勧め

てくださったのがきっかけです。最初は公民館活動でしたので、楽しんで踊っていたら良いかな？くらいに思っていました。ところが毎年、鎌倉・平塚の文化祭など出演の機会が多く、レッスンを出来ていな

いまま、怖いもの知らずの気持ちで乗り切ってきました。仲間がハワイに行き、ショッピン

グセンターのステージに立ち、笑顔で何とか踊りきって地元の観衆から拍手をいただいたこともあり、ハワイでは宗教の関係でフラを禁



じられていた時期があったそうです。カラカウア王が復活させましたが、王朝と実業家らの関係が悪化し、妹

のシリウオカラニ王女の代に王位放棄を迫られ、ハワイはアメリカ領土となりまし

詩吟と私

綾部材木店代表取締役社長  
綾部 聖洋

私は現在六十五歳です。詩吟は、二十八年前頃から始めております。



始めた当時は、昼夜仕事に追われる毎日でした。体も心も、時間にも余裕がなく、ふと振り返ると何となく心寒く、また

もの悲しく感ずるような日々でした。そんな時、学生時代にちよつと囁いた詩吟と出逢いました。

週一回、夜七時半から九時半までの稽古です。師範の先生(社団法人日本詩吟学院岳風会副理事長)の下、漢詩を中心に腹から声を出す(腹式呼吸稽古が始まりました。と同時に、稽古仲間と酒を酌み交わすことも楽しみの一つとなりました。また、詩吟を通じて自分自身の世界が広がったような気持ちになりました。

詩吟とは、古典芸能であり、最近漢詩だけでなく、和歌、俳句、新体詩と広く吟詠されるようになりまし

た。そして、ただ吟詠するのではなく、作者の気持ちを体得し、これを声に表すこと、詩の意味によって、強く、弱く、激しく吟じ、そこに感情を表現することなのです。

白河天道念仏「サンジモサ」

筑波大学名誉教授 草野 忠治

福島、関東の農村では、雨が降り続いた時稲の成長を願って、お日様に晴れを祈るために、近くの社に神主、修験者、農民達が集まり、日の出頃より日没近くまで、輪になったりして念仏(ナンマイダー)を唱え、鉦、太鼓を叩きながら田を回り、お祈りする民俗行事が、江戸時代頃より行われたようである。

一九九二年夏に、白河市関辺・郷度の八幡神社の広場でこの祭りがあり、訪ねた。

この祭りも時代と共に変容し、豊作祈願に、害虫を田から追い出すことも加わるようになった。「サンジモサ」は山神様の意味で、祭りの囃子の中に出てくる。

午後一時過ぎより蝗除けの神事があり、次に踊り子による歌と踊りが二時間近くあった。踊り子の輪の中に入ってサンジモサ踊(白扇子を開いて踊り、除蝗祭を歌う)と、サンジモサ音頭(白扇子を閉じて踊り、除蝗祭音頭を歌う)が演じられた。

先の歌には虫追いの文句があり「サンジモサ」の言葉が入っていたが、その後は神道流となり、「神身近し」の囃子になっている。

二種類の踊りと太鼓打ちが入ったものを一組として、三回繰り返すが、各区切りの間に二メートル位の高さの直四面体のお棚(写真裏の側に、数人の踊り子が集まり、上

棚に集まった虫を下に振り落とす行事がある。



天道(てんとう) 白河市関辺 (しらかわしせきへ) 郷渡(ごうど) 天祭(てんさい) 除蝗祭(じょこうさい) 神身近し (かみみじかし)

立体駐車場はネズミ天国

実倉自動車代表取締役社長 実倉 健



私は自動車整備工場を経営しており、お客様より「自動車用スチーマクリーンングして欲しい」との御要望が在りました。

お客様の車は、品川駅前飲食店街を含む大型ビル内に組み込まれた二本の立体駐車場内に在りました。

お客様と共に立体駐車場に行き、専任の係員にシャッターを開けたまま車両を降ろしてもらい、お客様が車両に乗り込んでエンジンをかけた時、車両下部よりネズミが数匹飛び出してきました。

お客様の御要望は「この車両が臭くてたまらないので、スチーマクリーンングをしてもらいたい」との事でした。ボンネットを開けるとネズミの糞らし

い物が多数ありました。そこで早速スチーマをやったのですが、臭いは除去出来ませんでした。

さらに「他の車両もやはり臭うし、エアコンを回すと異常な音がする」との事でした。恐る恐るヒーターファンを分解したところ、ネズミが詰まっていたと思われ、また、ネズミが侵入したと思われ、エアコンが変形していました。

続いて他の二台の車両の空調をオーバーホールしたところ、なんとネズミの死体がありました。

いろいろ部品を取り替えたり、温水スチームをしましたが、臭いはまったく除去出来ませんでした。

どうもネズミは狭い所や温かい所へ潜り込む習性があるようです。結局、大変な金額が掛かりましたが、一度ネズミに侵されると元には戻れません。ビル管理が甘いと大変な事になるようです。

会員図鑑

●椿 真人



アベックス産業(株) 業務課

新潟出身でおっとりとした性格。趣味はスノーボードで、新潟に住んでいた時は毎日のように遊んでいたが、東京に出てきてからは年数回のみ。得意はハーフパイプ。二十八センチのビッグフットでがっちりパイプをとらえて技を決める。アグレッシブだが、ピーマンが苦手。会社では若手とベテランの橋渡し役を担っている。

●中澤 健太



アベックス産業(株) 業務課係長

PC業界のスペシャリスト。困難な壁が立ちたはだかっている時こそ、経験と知識、時にはアイデアと強い信念で克服していく。以前から空手で体作りをして、その腕前は師範級。疲れた心身をリフレッシュするのは、大好きな北海道の雰囲気、イメージに浸るひととき。お目当ての味噌ラーメンを食べると元氣回復。

触覚DVD レミーの美味しいレストラン



定価 3,200円(税別)

すばらしい舌を持つネズミと落ちこぼれの料理人レミー。二人の出会いの場はレミーのレストラン。鍋の味付けをするネズミを偶然見て、その味見をレミーがしたこと、この奇妙な関係がスタート。間もなく、レミーのスープは評判になり、千客万来。しかし、いつしか、レミーの怪しい料理行動は目をつけられ、とうとう白状してしまう。まさか、ネズミがあの素晴らしい料理を作っていたなんて……

むしくいず

●問題● ※それぞれの空いている升に漢字を入れて四字熟語を完成させてください。 ※同じ色の升には同じ漢字が入ります。 ※4色の文字で出来る四字熟語が答えです。

一石二 鏡 水  
威 堂堂 下 氷 人  
越 南 枝 百 繚 乱  
日 進 歩 疾 迅 雷

◆応募規定 ハガキまたはファクシミリで、答え、住所、氏名、当社の関係を明記の上、ご応募ください。 〒105-0014 東京都港区芝2の23の4 アベックス産業(株)内 APEX CLUB宛 ファクシミリ番号 03-3455-6558 締切りは平成21年2月2日(月)(当日消印有効) 正解者の中から抽選で若干名様に記念品を差し上げます。 ★前号の正解と当選者(順不同) 正解は『十』でした。 当選者:石原仁誌、伊藤純江、島田麗子の3名様です。